

東京教区時報

第1225号
2011年10月16日発行
日本聖公会東京教区
港区芝公園3-6-18
編集人 英 久子

WEB: <http://www.nskk.org/tokyo/index.htm> E-MAIL: comm.tko@nskk.org
Phone: 03-3433-0987, Fax: 03-3433-8678 Diocese Office

人間って、えてして物事を自分の都合のいいように考えることがあります。また、自分は他の人より偉いんだ、優れていると思いたいこともありません。でも、すべての人を全く同じように愛し、大事にし、かけがえのない一人の人として大切にし、信頼して下さっている神様の前に立つことによって、自分の小ささ、至らなさ、傲慢に気づくことが出来るようになります。いつかは、全てをあるがままで良しとされる神様によってホットした私たちは、自分を振り返る余裕が出るのでしょうか。

ふと気がつく、何て馬鹿なことしているんだ、何という思い違いをしているんだと愕然とします。自分の間違いに気

《み手のなかで》

そおっと手のひらを
あけてごらん

福田 景 三 郎

づいた私たちは、その間違いを繰り返さないで済むようになるでしょう。つまり、自分の間違いから解放されるわけです。自由になるわけです。

私、あなたが、自分の狭さ、小ささから解放され、自由になることにより、自分自身の善きものを外に、何の頸木もなく自然に出せるようになります。「ぬくもり」が、その優しさが溢れ出てくることでしょうか。誰でも必ず持っているものだから。だって、「ぬくもり」は、私たちが生まれてくる時、神様がその小さな手の中にそっと入れてくださったものだから。

(諸聖徒幼稚園・園長)

教区フェスティバル献金額
礼拝 736,901円
リクエストコンサート 530,000円
出店(10月11日現在) 228,092円
計 1,494,993円

今週・来週の予定

10月16日~29日

- 16(日) 聖霊降臨後第18主日
主教巡回
聖オルバン教会
- 17(月) 常置委員会
- 19(水) 教役者レクイエム
- 20(木) 城南G牧師協議会
山手G牧師協議会
浅草特別委員会
ハラスメント防止委員会
フェスティバル実行委員会反省会
- 21(金) 下町G牧師協議会
- 23(日) 聖霊降臨後第19主日
主教巡回
聖ルカ礼拝堂
- 24(月) 人権委員会
- 25(火) 銀座朝祷会
- 27(木) 浅草特別委員会

10月の代祷・施設奉献
教役者緊急援助資金のため
(10月第3主日) 社会事業の日
(10月26日に最も近い主日)
浅草聖ヨハネ教会日曜給食活動のため 月島聖公会のため 教区こどもたちへの活動のため
教役者レクイエム
10月19日(水) 10時半
主教座聖堂

説教 石坂みち子司祭
司祭山田次郎 主教松井米太郎 司祭河合良隆 司祭遠藤敏雄 司祭青木毅三 主教八代斌助 主教高瀬恒徳 司祭牛島惣太郎 司祭副島虎十 伝道師長尾よつ 伝道師前田華江 司祭坂下内匠 主教山田襄 司祭竹之内瑞男 司祭岡精三 司祭速水敏彦 司祭津田昌男

「訂正」前号(巻頭頁「伝道師・橋本守師による」)の、第1223号を「第1224号」に、10月2日発行を「10月9日発行」に訂正いたします。
(広報委員会)
「いっしょに歩こう!」
支援募金累計額(9月30日現在)(含・教区フェスティバル献金) 3千3百91万6千526円

人事

司祭下条裕草 浅草聖ヨハネ教会
 牧師解任、聖アンデレ主教座
 聖堂勤務命令(8月15日付)
 司祭李 民洙 浅草聖ヨハネ教会
 司祭上田憲明 浅草聖ヨハネ教会
 管理牧師任命(8月16日付)

正義と平和協議会

運営委員会報告(10月4日)
 *議長報告 2012年宣教協議会に向け2月10、11日に東京教区各教会代表が集まり、教区の宣教を話し合った会を開催。

*協議事項 (1)作成中の協議会便りを2部構成とする。7月23日の大震災報告会の詳細な記録を別冊とし、当日報告の概略および感想文からなる便りとお

わせて11月初めに発送の予定。
 (2)次回の協議会は、原発問題を主題として講演会を行ない、12月3日(土)に開催を予定。

創立100年を迎える聖公会神学院の記念感謝礼拝 10月29日(土) 14時、同院諸聖徒礼拝堂 司式 植松誠主教(理事長、説教 竹田眞主教(前理事長・元校長)。礼拝後は大教室でお茶会、同時に百年の歩みをふり返る写真も展示される。

基地のない平和な沖縄をめざす会主催「講演と文化のつどい」 29日(土) 13時半、浅草聖ヨハネ教会、伊波洋一前宜野湾市長の講演のあと沖縄料理・さんしんや踊りなどを愉しむ。会費 3千円。照会 03(6806) 0247・主催団体。

教区GFS世界祈祷日礼拝

「核のない世界をめざして」をテーマに、11月5日(土) 14時から聖マーガレット教会で、司式 神崎雄二司祭、説教 大畑喜道教区主教で行われる。式文作成は日本が担当した。福島原発の問題が叫ばれている今、一緒に祈りのときを。と呼びかけている。礼拝後のお茶会(ホール)ではGFS世界会議出席の報告も。照会 042(796) 7599・水谷治子。



「いつしよに歩こう!」

被災者支援チャリティイベント 聖マーガレット教会 信徒8人が奏でる器楽・声楽曲 10月30日(日) 14時、同教会。無料(会場献金)。照会 03(334) 2812・同教会。

掲載記事転用の場合は事前連絡のこと

【クローズアップ】96
なっけつ! 夏キャンプ

私達は総勢26人で箱根に夏キャンプに行ってきました。このキャンプは当初、東北教区の学生に呼びかけて、合同キャンプの予定でしたが、予定が合わず、東北の学生の参加はありませんでした。しかし、東北から長谷川清純司祭と、聖職候補生の渡部拓先生の2名に東北教区から参加して頂き、今回の大震災のお話も伺い、より有意義なものとなりました。

初日はアイスブレイキング中心で参加者の緊張を解き、2日目は今回のテーマであった「なっけつ!」を胸に、3チーム對抗の運動会を開催しました。各

チーム毎のハチマキ作成から始まり、水鉄砲対決やドッチボール等、大いに盛り上がりました(私が運動会担当なので良く書かせて頂きました(笑))。宿に戻ってから2グループに分かれ、『楽しさ』『幸せ』について「あつく」語り合いました。その後、東北教区で用意してくださった震災のDVDを見、キャンプファイヤー等を経た時には、本当に皆仲良くして、夜遅くまで盛り上がりました。

最終日は参加者全員がそれぞれにメッセージを書き、それをファイリングするなど、より思い出に残るものとなりました。私自身、このような、若者が中心となる教会のキャンプは初めてでしたが、今回私が得た一

番大きなものは、他の教会の中高大生という、普段関わることのない、同世代の人達と交流できたという事だと思えます。これからこの横の関係を大事にして、交流をより深められればよいなと思います。

最後に、キャンプ中お忙しい中お説教して頂いた大畑主教、お世話になった須賀先生、宮崎先生、卓先生を初めとする東京教区・東北教区の関係者の方々に、感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。

今後このような機会があれば私自身参加したいですし、より多くの中高大生にもぜひ参加してほしいと思っています。

浅草聖ヨハネ教会

森 健太郎